

お客様各位

株式会社トライアングル

当社各航路における安全対策について（第二版）

いつも YOKOSUKA 軍港めぐり・猿島航路をご利用頂きまして誠にありがとうございます。

当社ではお客様に安心・安全・快適にご乗船頂くため、安全管理規程の遵守はもちろんのこと、船舶の安全対策および非常時に備えた船員の各種訓練等を重ねております。

当社ではこれからもお客様が安心、安全にご乗船していただけますよう、努めて参ります。何卒ご理解いただけますよう、お願い申し上げます。

1 避難誘導訓練の実施

当社の所有する「Sea Friend Zero」・「Sea Friend 1」・「Sea Friend 7」・「Sea Friend 8」すべてで法定の防火操練（毎月 10 日）および非常操練（3 カ月に 1 回）を行っています。

※直近では 2022 年 4 月 10 日に実施

加えて、自主的な訓練・点検を年 2 回実施しています。

※直近では 2021 年 12 月に「年末年始安全総点検」で実施

2 ライフジャケット等の避難用具の用意

当社の所有するすべての船舶は、ライフジャケット・救命浮器・救命いかだを合計で法定数（定員数）搭載しています。

※詳細につきましては【参考】をご覧ください

3 軍港めぐりや猿島航路などでのライフジャケットの着用について

当社では「安全管理規程」を国土交通省関東運輸局へ届け出ておりますので、小型船舶操縦者法施行規則 第 137 条 第四項 五 により、同法で定める救命胴衣の着用義務は必須ではありません。なお、大型船である軍港めぐりでも、着用が必須ではありません。しかし、ライフジャケット着用が必要な際は、着用をお願いしています。

【引用】小型船舶操縦者法施行規則（第 137 条 第四項）

五 海上運送法に定める安全管理規定を届け出た事業者が当該規定に従って運航する船舶

に乗船している者

4 運航判断について

日常的な判断は船長及び運航管理者（または運航管理補助者）が行い、安全統括責任者が確認しています（この判断に経営トップが関わることはございません）。

5 安全管理規程

当社でも法定の「安全管理規程」を設けています。

また、以下の「運航基準」も国土交通省関東運輸局へ届出を行い受理されています。

航路	風速		波高	視程
	NW～NE	13m/s以上		
三笠～猿島	その他	18m/s以上	1. 5 m以上	5 0 0 m以下
	NW～NE	12m/s以上		
猿島～観音崎	その他	15m/s以上	1 m以上	1. 0 0 0 m以下
猿島～八景島	NW～NE	12m/s以上		
軍港めぐり	20m/s以上		1 m以上	5 0 0 m以下
三笠～第二海堡	10m/s以上		1 m以上	2, 0 0 0 m以下
上記以外の横須賀港	15m/s以上		1. 5 m以上	1, 5 0 0 m以下
浦賀渡船	10m/s以上		1 m以上	3 0 0 m以下
その他東京湾内	12m/s以上		1 m以上	1, 5 0 0 m以下

※上記の基準を下回っていても、気象・海象によって欠航の判断をする場合があります。

6 船客賠償保険の加入

当社所有の全船（「浦賀の渡し」を含む）で日本旅客船協会の「船客傷害賠償責任保険」に加入しています。船客賠償は1名あたり6,000万円となっています。

7 乗船名簿をあらかじめご記入いただかない理由

当社各航路では乗船名簿の記入をお願いしておりません。それは、「船員法」により、沿海区域のみを航行する船舶は義務付けられていないためです。

【引用】 船員法（第 18 条及び船員法施行規則第 12 条 第三項）

③次に掲げる船舶にあっては、旅客名簿を備えおくことを要しない。

二 沿海区域のみを航行する船舶

※（当社補足）

「沿海区域」とは、陸から 20 海里（約 40km）以内の水域であり、その範囲内で船舶ごとに航行区域が制限されています。

当社では引き続き、航行の安全を第一に考え、厳密な安全管理のもと運航して参ります。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

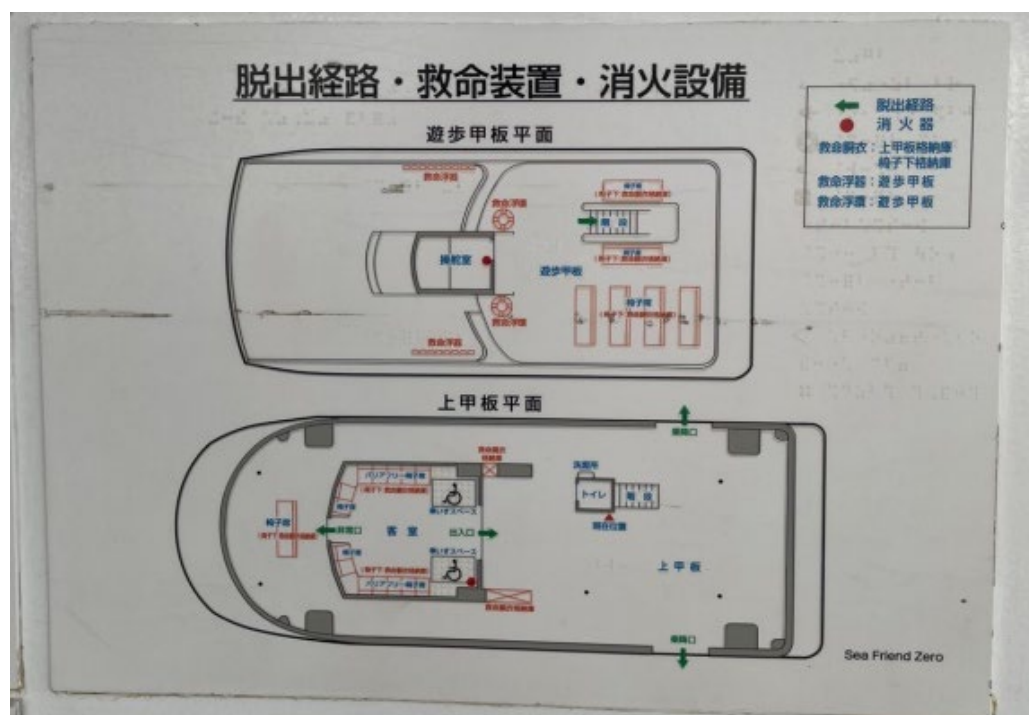
以上

令和 4 年 4 月 28 日 初回掲載

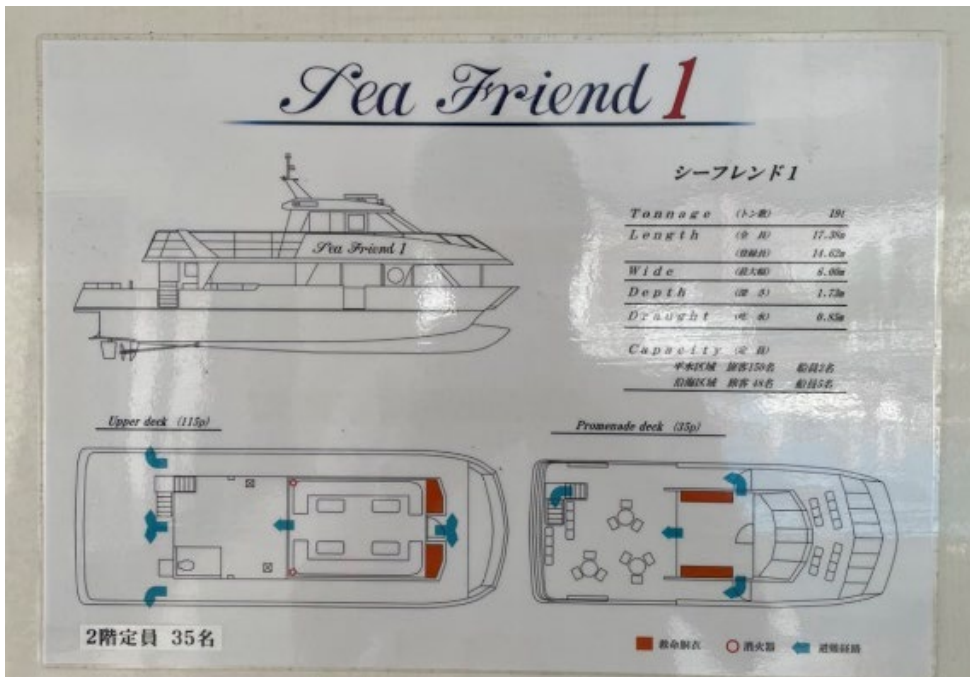
令和 4 年 5 月 23 日 一部改訂

【参考】 船内に提示されている表示等

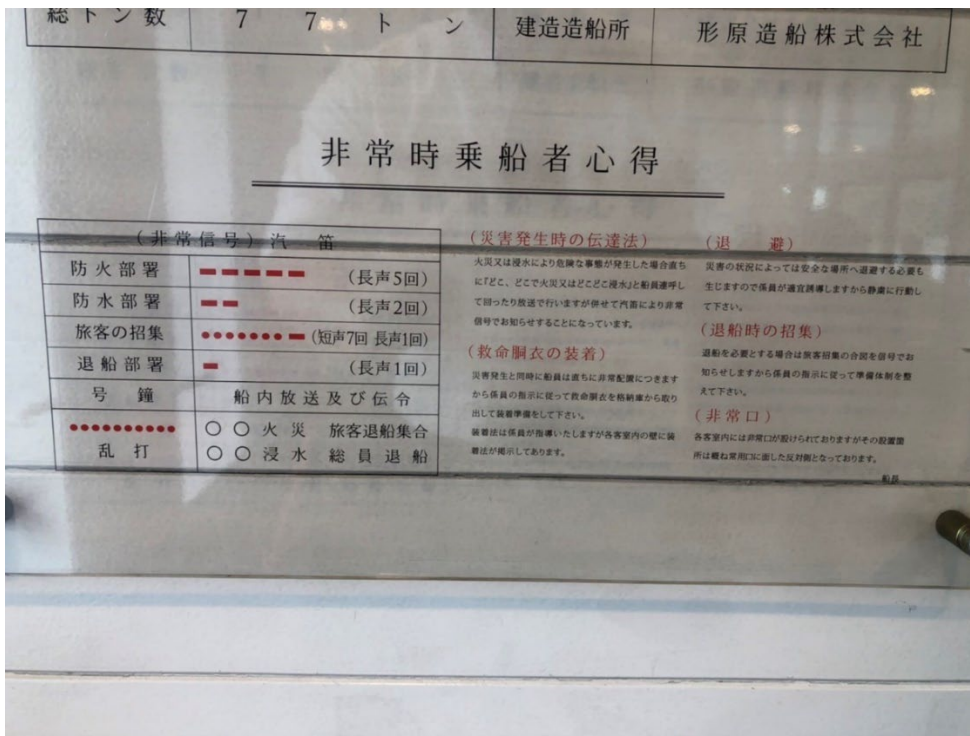
● 「Sea Friend ZERO」 脱出経路・救命措置・消火設備位置図



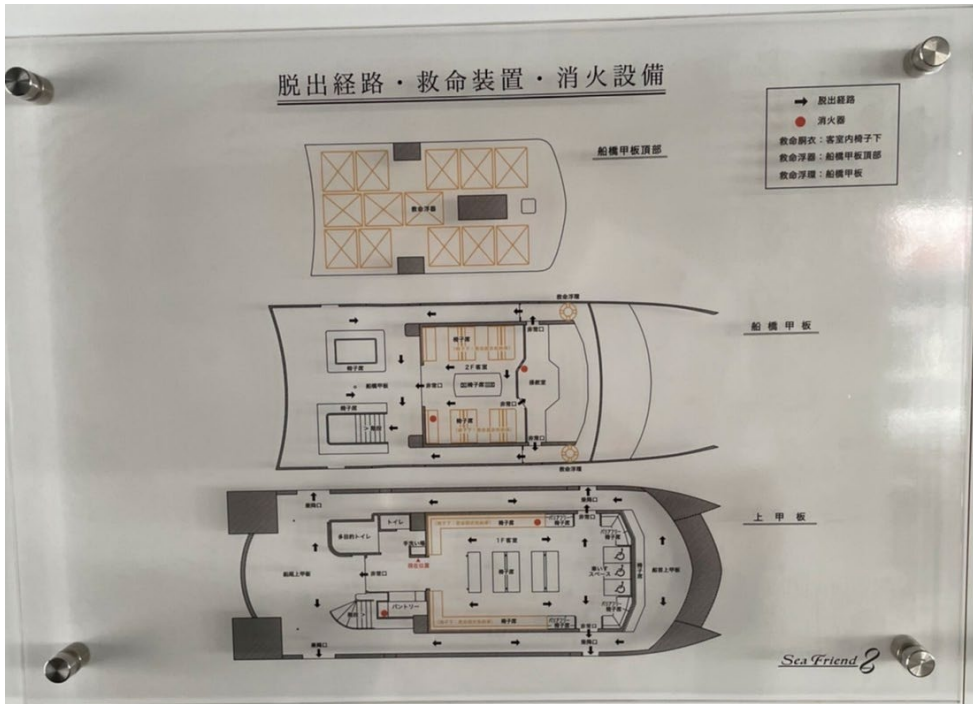
● 「Sea Friend 1」 脱出経路・救命措置・消火設備位置図



● 「Sea Friend 7」 脱出心得



● 「Sea Friend 8」 脱出経路・救命措置・消火設備位置図



● 「Sea Friend ZERO」 搭載の救命いかだ

survitecgroup

膨脹式救命浮器 TRF-6R型 6人用

膨脹式救命浮器TRF-6R型は、小型船舶安全規則49条に基づく諸条件に適合し、自動膨脹・自動浮揚するように設計されていますので、沿海、限定沿海、平水を航行区域とする小型船舶の救命設備として正式に預付けをして船舶検査に適合できます。また、落水者に対しても、投げ込んで水上で自動膨脹させ水難救助に威力を発揮します。



膨脹状態

品名	小型船舶用救命浮器 (膨脹式)
型番	TRF-6R型
タイプ	縦型 / 水平型
型式承認番号	第4882号
定員	6人
保管寸法 (幅×長さ×高さ)	420×220×130mm
質量	2,900kg
膨脹所要時間	約10秒
総浮力	47kg
気室材料	(片面) ポリウレタン引布 (基布) 420dナイロン
充気ガスの種類	炭酸ガス 55g



FRPコンテナ
サイズ42x22x12cm

特長

- 1 沿海、限定沿海、平水を航行区域とする全ての小型船舶の救命設備として正式に搭載可能です。(船検適合)
- 2 膨脹式のため、従来の円筒形浮器と比べて格段にコンパクトで軽量なので狭い船上の大幅な省スペースができます。
- 3 フレジャーボートに搭載しても外観を損なわないスマートなデザインのFRPコンテナです。
- 4 主材料はナイロン基布に熱可塑性ポリウレタンをコーティングしたポリウレタンコーティング布を採用し従来のゴム引布製と比較して抜群の耐候性、耐摩耗性を有しています。
- 5 浮器はコンテナごと水没すると自動膨脹装置により自動で膨脹し浮揚します。コンテナから取り出し投下しても自動膨脹後浮揚し、さらに手動、または、補助空気管から口で空気を入れても膨脹が可能です。
- 6 浮体は2気室で浮力は47kgあり、定員6人を水中で支える事ができます。
- 7 浮気本体は、遠方からでも見つけやすいオレンジ色で夜間でも発見しやすい再帰反射材付きです。
- 8 使用後も、ポンベとカット装置のマガジンを交換するだけで再使用が可能です。
- 9 コンテナのタイプは、縦型と水平型からお選び下さい。

Sea Friend 7 に搭載のライフジャケット

